

# 「新学校生活ガイドライン」について

2020. 5. 26 現在

5月14日 福岡県に対する緊急事態宣言が解除され、25日には全都道府県のすべてが解除となりました。これからは感染の再拡大の防止に努めなければなりません、またコロナと向き合っていく新たなスタートであり、新たな生活様式への切り替えの時です。どうぞよろしく願いいたします。

## (1) 基本的な感染症対策として

- ①身体的距離の確保
- ②マスク着用 ③手洗いと手指消毒（手洗いはこまめに石鹸使用し30秒程度）
- ④交通機関利用（マスク着用、会話は控えめに、混む時間帯は避けて）
- ⑤人との接触を減らし、不要不急の移動や外出を控える（特に三密のある場所への外出）
- ⑥帰宅したらまず手や顔を洗う できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる

## (2) 学校生活上の基本的な生活様式

※登校前の家庭/寮での健康観察は継続、体調不良や風邪症状等ある場合は学校へ連絡し、無理をせず自宅療養し学校を休むこと（コロナ対応として相当期間実施）

- ①身体的距離の確保（人との間隔はできるだけ2m（最低1m）空ける、会話をする際は可能な限り真正面を避ける）
- ②飛沫感染を防止（登下校/校内でのマスク着用、咳エチケットの徹底、校内で大声などは控える、教職員のフェースシールド等の使用）
- ③手洗いと手指消毒（手洗いは定期的に石鹸使用 特に食事前、校内移動と同時に手指消毒）
- ④三密（校内での密集 密接 密閉）をできるだけ回避
- ⑤換気（施設/教室等でのこまめな換気徹底）
- ⑥接触感染を防止（高頻度接触部位(机/椅子/ドアノブ/スイッチ/蛇口/手すり/押しボタン等)）には特に注意し、この部位の除菌、接触後の消毒

## (3) 学校生活上の場面ごとの生活様式

### ■食堂利用の場面

- ・ 食堂利用者の人数制限を行い、時間設定も適宜行う
- ・ 食事中はできるだけ会話は控えること
- ・ 対面席はとらず横並びで使用（テーブルの✕印の席は使用せず対面をつくらない）
- ・ 飲料容器（ペットボトル/コップ）等の回し飲みはしない、水筒の持参
- ・ 食券購入・料理受取・食器返却時等は身体的距離（1m以上、目印設置）を空ける
- ・ 食堂内の施設/器具の消毒

### ■寮生活の場面

本校寮生活は共同生活であるため感染への危機意識をしっかりと高め、寮監の指示に従い、上記(1)(2)に順ずること、また別途、「寮生活ガイドライン」を策定する

#### ■図書室利用の場面

- ・入室前後の手指消毒 ・書籍等の定期的な消毒. 除菌
- ・対面席はとらず横並びで使用（机の✕印の席は使用せず対面をつくらない）
- ・混雑時の人数制限と時間制限を設ける

#### ■通学/通勤の場面

- ・公共交通機関をできるだけ控え、徒歩・自転車利用も併用する
- ・交通機関利用に際しては少人数、マスク着用、会話は控えめ、混む時間帯は避ける

#### ■クラブ活動の場面

- ・活動前後は健康観察を行う ・練習中の十分な休息や休養日を設ける
- ・各部で屋内外や状況に応じた感染症対策をとる
- ・練習試合/公式試合参加等については校長判断・校友会指示に従う
- ・別紙（校友会発信の感染症対策）参照

#### ■体育授業の場面

- ・授業前後は、マスクを着用するが授業中のマスク着用はしなくてもよい
- ・授業を見学する際は、体操服を着用し、併せてマスクの着用も
- ・授業前後の手洗い、手指消毒をおこなう、授業終了後は器具の消毒も行う
- ・授業中、生徒の健康状態・体調変化の把握に努める、体調がすぐれない生徒は無理させず、休息をとらせ、場合によっては保健室へ
- ・別紙（保健体育科発信の感染症・熱中症対策）参照

#### ■音楽授業の場面

- ・事前にピアノ、打楽器、生徒の机と椅子、電気のスイッチなど、生徒が触れるところは消毒. 除菌する
- ・楽器をグループ等で交替し使用する際には、除菌シートなどで拭き取ってから使用するよう指導する
- ・歌唱はできるだけ控えるが、実施する場合にはマスクを着用し、声量については加減し、必ず換気を徹底する
- ・別紙（芸術(音楽)科発信の感染症対策）参照

#### ■情報/芸術(書道)/家庭科/特別教室/授業の場面

- ・授業前後は、PC/書道具/ミシン/教材具等の消毒. 除菌する
- ・授業前後は、手洗い、手指消毒を行う
- ・単体/少人数グループ活動を基本とし、ローテーション等の手法も取入れる

#### ※付加

- ・発症したときのため毎日健康観察の記録、誰とどこで会ったかを日頃からメモに残す
- ・本校近辺、住んでいる地域の感染状況に注意する